



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 NCホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6236 URL http://www.nc-hd.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶原 浩規
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 村田 秀和 (TEL) 03-6859-4611
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,992	1.3	99	266.1	136	136.7	78	203.5
2019年3月期第1四半期	2,952	13.7	27	18.8	57	△48.0	25	△48.1
(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期	26百万円(61.9%)				2019年3月期第1四半期 16百万円(△96.4%)			
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	12.42	—	—	—	—	—	—	—
2019年3月期第1四半期	4.05	—	—	—	—	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,889	7,686	48.4
2019年3月期	16,240	7,741	47.7
(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期	7,686百万円	2019年3月期	7,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	
2020年3月期	—	—	—	—	—	
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	14,000	5.0	550	△21.8	600	△21.7	450	△26.8	70.92	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
 期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	6,416,046株	2019年3月期	6,416,046株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	81,173株	2019年3月期	46,840株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,344,890株	2019年3月期1Q	6,415,138株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の影響や消費の伸び悩みなどから中国の経済は減速傾向となりましたが、米国では通商問題の影響が一部でみられるものの、景気は回復基調を維持しました。欧州や環インド洋地域でも、景気は回復基調を維持しました。日本経済につきましても、生産や輸出に弱さがみられ先行き不透明感があるものの、雇用、所得環境の改善を受け、穏やかな回復基調となりました。

このような環境下、当社グループでは、受注高はコンベヤ新設設備、立体駐車装置関連の受注により3,943百万円（前年同四半期比61.5%増）となりました。立体駐車装置本体の工事の遅れ、太陽光発電設備の納入遅れがあったもののコンベヤ設備の納入、立駐のメンテナンスが堅調に推移したことにより、売上高は2,992百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。損益面につきましては、コスト削減、経費の圧縮などの推進、コンベヤ新設案件の利益率改善により、営業利益は99百万円（前年同四半期比266.1%増）、受取配当金等の収入により経常利益は136百万円（前年同四半期比136.7%増）、特別損失として投資有価証券評価損を計上しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は78百万円（前年同四半期比203.5%増）となりました。

セグメント別の状況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「人材派遣関連」の名称を「情報サービス関連」に変更しております。また、同連結会計期間より事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更を行っております。経営成績における前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の利益又は損失の測定方法により組み替えた数値で比較しております。事業セグメントの測定方法の変更の詳細につきましては、「(3) 四半期連結財務諸表 注記事項 セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

[コンベヤ関連]

コンベヤ関連では、受注高は主にセメント工場向け設備の受注により2,112百万円（前年同四半期比657.3%増）となり、土木工事用関連設備、海外製鉄所向け設備、保守部品の納入等により、売上高は1,413百万円（前年同四半期比77.0%増）、セグメント利益は146百万円（前年同四半期セグメント損失10百万円）となりました。

[立体駐車装置関連]

立体駐車装置関連では、受注高はタワー式新設案件の受注により1,719百万円（前年同四半期比23.0%増）となりました。メンテナンスは堅調に推移しましたが、新設工事の遅れにより売上高1,288百万円（前年同四半期比9.9%減）、セグメント利益は177百万円（前年同四半期比28.6%減）となりました。

[情報サービス関連]

情報サービス関連は、売上高は79百万円（前年同四半期比26.1%増）、セグメント損失は11百万円（前年同四半期セグメント損失5百万円）となりました。

[太陽光発電システム関連]

太陽光発電システム関連は、受注高は32百万円（前年同四半期比68.0%減）、発電設備の納入遅れ、機器販売の減少により売上高は211百万円（前年同四半期比68.0%減）、セグメント損失3百万円（前年同四半期セグメント利益18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度と比較して351百万円減少の15,889百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が913百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,459百万円減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度と比較して295百万円減少の8,203百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が415百万円減少したことによるものです。純資産は、前連結会計年度と比較して55百万円減少の7,686百万円となりました。主な内訳は、有価証券評価差額金が51百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループをとりまく経済環境は、米中貿易摩擦の影響はありますが、雇用所得環境が改善するとともに、底堅い個人消費や設備投資の持ち直しにより穏やかな回復基調が続きました。このような環境下、立体駐車装置の新設工事の遅れはありますが、コンベヤ新設設備の納入、立体駐車装置のメンテナンスも堅調に推移していることから、2019年5月15日発表の当期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,667,873	5,581,002
受取手形及び売掛金	5,098,341	3,639,150
仕掛品	646,038	494,311
開発事業等支出金	1,065,496	1,163,102
原材料及び貯蔵品	476,919	502,036
その他	793,874	946,454
貸倒引当金	△25,501	△18,375
流動資産合計	12,723,041	12,307,682
固定資産		
有形固定資産	667,977	659,670
無形固定資産	81,539	80,203
投資その他の資産		
投資有価証券	2,142,685	2,184,032
その他	686,504	719,183
貸倒引当金	△60,908	△60,971
投資その他の資産合計	2,768,282	2,842,244
固定資産合計	3,517,798	3,582,118
資産合計	16,240,840	15,889,801
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,274,983	2,859,843
短期借入金	700,000	800,000
未払法人税等	124,985	16,141
前受金	1,818,960	1,835,588
賞与引当金	153,981	44,206
完成工事補償引当金	124,000	127,500
工事損失引当金	9,000	32,000
移転損失引当金	62,906	62,731
その他	582,809	788,912
流動負債合計	6,851,626	6,566,923
固定負債		
退職給付に係る負債	752,978	769,942
移転損失引当金	576,369	560,710
その他	318,196	305,903
固定負債合計	1,647,545	1,636,556
負債合計	8,499,171	8,203,479

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,800,000	3,800,000
資本剰余金	1,221,755	1,221,755
利益剰余金	2,177,972	2,193,111
自己株式	△23,835	△42,453
株主資本合計	7,175,893	7,172,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	578,137	526,270
土地再評価差額金	△12,361	△12,361
その他の包括利益累計額合計	565,775	513,908
純資産合計	7,741,668	7,686,321
負債純資産合計	16,240,840	15,889,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,952,889	2,992,729
売上原価	2,458,209	2,413,407
売上総利益	494,679	579,321
販売費及び一般管理費	467,370	479,347
営業利益	27,309	99,974
営業外収益		
受取利息	161	115
受取配当金	31,341	33,319
有価証券売却益	15,509	2,626
その他	8,099	5,663
営業外収益合計	55,112	41,724
営業外費用		
支払利息	5,276	1,446
有価証券売却損	10,456	861
その他	9,129	3,128
営業外費用合計	24,863	5,436
経常利益	57,558	136,261
特別損失		
固定資産処分損	-	513
投資有価証券評価損	-	24,203
特別損失合計	-	24,716
税金等調整前四半期純利益	57,558	111,545
法人税等	31,586	32,714
四半期純利益	25,971	78,830
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,971	78,830

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	25,971	78,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,321	△51,867
その他の包括利益合計	△9,321	△51,867
四半期包括利益	16,649	26,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,649	26,963

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	コンベヤ 関連	立体駐車 装置関連	情報サービ ス関連	太陽光発電 システム関 連			
売上高							
外部顧客への売上高	798,289	1,429,266	62,796	662,536	2,952,889	—	2,952,889
セグメント間の内部売上 高又は振替高	157,357	44,436	26,102	—	227,895	△227,895	—
計	955,647	1,473,702	88,898	662,536	3,180,784	△227,895	2,952,889
セグメント利益又は損失(△)	△10,058	248,086	△5,752	18,060	250,336	△223,027	27,309

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△223,027千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	コンベヤ 関連	立体駐車 装置関連	情報サービ ス関連	太陽光発電 システム関 連			
売上高							
外部顧客への売上高	1,413,242	1,288,436	79,203	211,845	2,992,729	—	2,992,729
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	6,764	—	6,746	△6,746	—
計	1,413,242	1,288,436	85,949	211,845	2,999,475	△6,746	2,992,729
セグメント利益又は損失(△)	146,032	177,143	△11,550	△3,130	308,495	△208,521	99,974

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△208,521千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 当第1四半期連結会計期間より、「人材派遣関連」としていた報告セグメント情報を「情報サービス関連」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントについても、変更後の名称で記載しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当社グループの管理部門については連結経営が進む中でグループ一体経営を目的とした機能としての意味合いが強くなったため、第1四半期連結会計期間より「コンベヤ関連」と「立体駐車装置関連」に配分しておりました管理部門の費用の一部について、セグメント利益の調整欄に「全社費用」として計上する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法に基づき作成したものを記載しております。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当事業年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
コンベヤ関連	1,413,242	+77.0
立体駐車装置関連	1,288,436	△9.9
情報サービス関連	79,203	+26.1
太陽光発電システム関連	211,845	△68.0
合計	2,992,729	+1.3

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 金額は、販売価格によっております。

3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当事業年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
コンベヤ関連	2,112,671	+657.3	10,364,609	△12.9
立体駐車装置関連	1,719,315	+23.0	5,493,130	△5.9
情報サービス関連	79,203	+26.1	—	—
太陽光発電システム関連	32,110	△68.0	371,597	△45.8
合計	3,943,300	+61.5	16,229,337	△11.9

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。